

「クリエイティブ思考の邪魔リスト」

著者：瀬戸 和信

出版：朝日新聞出版

発行：2016年7月20日



日本エイサー、日本マイクロソフトなどで活躍してきた著者によるソーシャル経済ニュースメディア「NewsPicks (<https://newspicks.com/>)」で人気の連載を書籍化したものである。著者はマイクロソフトで「2 in 1 (surface)」、エイサーで「ネットブック」という新しい概念を日本に定着させ、商品をヒットさせた実績を持っている。

次期学習指導要領に向けた改訂の基本方針に、AIも学習し進化する時代において、人間が学ぶことの本質的な意義や強みを問い直し、これまで改訂の中心であった「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加えて、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点から学習指導要領を改善するとされている。今後子供たちが身に付けるべき資質・能力には、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」という3つの学力があげられている。今、世界中の企業で職種を問わず重視される「クリエイティブ思考」は、まさにこれからの学校教育で育まれる重要な能力であり、ビジネス社会のみならず、AIの時代を生き抜くスキルとして求められている。社員採用の現場やビジネスパートナーとして、自分を売り込むキーワードとして、「クリエイティブ思考」が世界中に使われ始めているということからも証明されている。本書では、この思考を阻害（邪魔）するものは何なのかを明らかにし、生来誰もが持つ力を取り戻す方法を解説している。

著者は、「考えて創造する」ことを、クリエイティブ思考と定義づけている。本書を読めばクリエイティブ思考とは、決して選ばれた人間の専売特許ではなく、心がけ次第で、誰もが多かれ少なかれ習得することができるということがわかる。「すべての人は生まれたときからクリエイティブ思考を持っています。もしも使いこなせていないのであれば、それは自らクリエイティブ思考を邪魔しているからです。」という著者が、そもそも人間の能力として備わっているクリエイティブ思考発揮の障害になっている事柄に焦点を当

て、15項目の「邪魔リスト」として、詳しく説明している。以下の15の悪しき習慣さえ取り除けば、本書の読者もクリエイティブ思考を持つ人になれるかもしれない。

15項目の邪魔リスト

- 1 制約を侮ってはいけません
- 2 名刺は名前以外を見てはいけません
- 3 慎重に計画を練ってはいけません
- 4 「考えても仕方がないこと」を考えてはいけません
- 5 周囲からの影響を軽く見てはいけません
- 6 「知ったか病」に冒されてはいけません
- 7 自分の「型」に他人をはめてはいけません
- 8 「男だからハイヒールは履かない」と言っていてはいけません
- 9 弱みを克服してはいけません
- 10 グローバル時代に異文化を学んではいけません
- 11 違和感から逃げてはいけません
- 12 「自己ブランディング」に罪悪感を持ってはいけません
- 13 惰性リズムを積み重ねてはいけません
- 14 「運動」を仕事と切り離してはいけません
- 15 徹夜した自分に酔ってはいけません

クリエイティブ思考とは・・・と解説するのではなく、それを邪魔するものをあげながら、クリエイティブ思考を明確化しようとする新たな切り口が面白い。著者が提案する15の邪魔リストをあえて意識的に実行しないことで、今までの自分自身の価値観や、概念を、違う視点で眺めることができるかもしれない。

クリエイティブ思考とは目に見えないものであり、世間の常識に押し流されて簡単に忘れてしまうものでもある。だからこそ自分自身が常に意識すべきだということに「気づく」必要がある。著者は、そのために“小さな一歩”を踏み出してほしいと結んでいる。

起業教育研究会 企画委員
兵庫県立伊丹北高等学校 校長 井上 仁志